

HAGIWARA PROJECTS

天野祐子／森田浩彰／渡辺泰子／ジョシュ・トンスフェルト
「カメラのみぞ知る」

Yuko Amano/Hiroaki Morita/Yasuko Watanabe/Josh Tonsfeldt
“The Camera Knows Everything”

■会期： 2015年5月9日(土)～6月13日(土)
火-土 11:00-19:00 (日/月/祝日休廊)
レセプション 2015年5月9日(土) 18:00-20:00

■会場： ハギワラプロジェクト
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-18-2-101
京王新線・都営新宿線「初台」駅東口より徒歩5分／
「新宿」駅南口より徒歩15分／都営大江戸線「都庁前」駅より徒歩12分
T/F: 03 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com

■協力： AOYAMA|MEGURO, Gallery SIDE2, Simon Preston Gallery



天野祐子「海辺」
2015 ライトジェットプリント

前略 平素は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

ハギワラプロジェクトでは5月9日(土)より、写真と映像の展覧会「カメラのみぞ知る」を開催いたします。この展覧会は、石川卓磨氏と沢山遼氏の企画による、タリオンギャラリー、ユミコチバアソシエイツを含めた3ギャラリーの共同企画です。ハギワラプロジェクトでは、天野祐子、森田浩彰、渡辺泰子、ジョシュ・トンスフェルトの4名の作家の作品を展示いたします。

展覧会に際し、論考を含めたカタログの出版および出版記念トークを開催予定です。こちらも合わせてご高覧頂けたら幸いです。

「カメラのみぞ知る」は、写真を中心にした展覧会です。しかし、写真という領域は、現在ますます曖昧で複雑化しています。同じ機材で写真と動画が生産されるようになり、写真と通信技術が直接的に結びついている環境で、本展はあらためてカメラという機械的・技術的体系がもつ特質や、カメラを中心として、またはカメラを媒介として構成されるさまざまな社会的位相に注目しました。本展は、60年代から活躍していたデニス・オープンハイムや高松次郎から新鋭までを含む、国内外の作家12名と、執筆者4名によって、ただ表象としての写真を考察するのではなく、イメージの産出装置であるカメラを通して写真を考察したいと思います。圧倒的な量の表象＝映像のなかで生活している私たちは、カメラとその映像を通してどのような議論が可能なのか。ここでの問いかけは、現在進行形で変容しているカメラやイメージのあり方と、その政治性について考え始めるための一つの手引きとなるはずで、石川卓磨

■タリオンギャラリー 出品作家：荒川徹、新津保健秀、小池浩央、ベアト・ストロイリ
〒171-0031 東京都豊島区目白 2-2-1 B1F T：03-5927-9858 E：info@taliongallery.com

■ユミコチバアソシエイツ 出品作家：石川卓磨、高松次郎、冨井大裕、デニス・オープンハイム
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206 T：03-6276-6731 E: info@ycassociates.co.jp

■カタログ出版： 石川卓磨、沢山遼、荒川徹、倉石信乃の執筆者の論考を掲載

■出版記念トーク：日時：5/29(金) 19:30-21:30
出演：荒川徹、石川卓磨、倉石信乃、渡辺泰子
場所：NADiff a/p/a/r/t 店内
入場料 1,000円 (当日カタログご購入の方は無料)

つきましては、ご多忙中恐縮ですが、是非貴誌貴社にて掲載頂けたら幸いです。合わせて展覧会もぜひご高覧くださいませ。
【広報用画像に関するお問い合わせ先】 info@hagiwaraprojects.com tel&fax 03 6300 5881